

県営処分場エコグリーンとちぎ安全推進協議会

第3回会議開催結果概要

- 1 開催年月日 令和6（2024）年6月25日（火）15時00分～16時10分
- 2 場 所 エコグリーンとちぎ管理棟2階大会議室
- 3 議 事

(1)エコグリーンとちぎの運営等について

(2)北沢不法投棄物の撤去について

(3)エコグリーンとちぎの情報発信について

(4)その他
- 4 出席者

安全推進協議会委員

- (1) 那珂川町行政区長連絡協議会会長

関根 了
- (2) 那珂川町和見行政区長

松山 伸一
- (3) 那珂川町小口行政区長

藤田 善久
- (4) 那珂川町議会教育民生常任委員会委員長

矢後 紀夫
- (5) 一般財団法人日本環境衛生センター顧問

藤吉 秀昭
- (6) 国立研究開発法人国立環境研究所 福島地域協働研究拠点
廃棄物・資源循環研究室長

遠藤 和人
- (7) 栃木県環境森林部参事

山口 弘美
- (8) 那珂川町生活環境課長

杉本 篤

事務局（栃木県）

- 資源循環推進課長

大橋 禎恵
- 県営処分場管理担当 主幹

加藤 道夫
- 副主幹

吉成 友徳
- 係長

尾崎 卓也
- 主査

角田 武裕
- 主任

角田 里史

事務局（SPC）

- 株式会社クリーンテックとちぎ代表取締役

安藤 由紀男
- 株式会社クリーンテックとちぎ取締役

吉崎 幹人
- 株式会社クリーンテックとちぎ処分場責任者

河道 信二
- 株式会社クリーンテックとちぎ施設保全部兼総務部責任者

宮田 昭宏
- 株式会社クリーンテック営業部部长

鈴木 和昭
- 株式会社クリーンテック経営企画室室長

澤田 義麿
- 株式会社熊谷組 エコグリーンとちぎ作業所所長

田中 明
- 株式会社熊谷組 エコグリーンとちぎ作業所副所長

宮本 孝
- 株式会社熊谷組 エコグリーンとちぎ作業所

柳楽 和宏
- 株式会社熊谷組 首都圏支店 工事管理部長

花光 洋

5 結 果

委員からの御質問・御意見等	事務局（県及びSPC）からの回答等
<p>(1) エコグリーンとちぎの運営等について (資料1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民からファンの稼働音に対する問い合わせがあり、ファンの稼働数を減らすなどの対応をとったとのことだが、その他に地域からの苦情や問い合わせはなかったか。また、その際にはどのような対応をとったか。 ・ P F A S（有機フッ素化合物の総称）についてはどのような対応をしているか。 ・ P F A Sについては、最終処分場としての基準が定まっていないので確認しても対応が難しい。法規制だけでなく、その他の動きも注視しつつ対応を検討すると良いのではないか。 ・ 今回の報告では、受入廃棄物やその性質等の情報については良好であるということはよく理解できたが、内部の作業状況を表す埋立地自体の情報が少ないと感じた。容量や進捗率、クローズド型なので散水量と水処理量も提供してもらいたい。処分場の健全性という観点から、水収支は非常に重要なので、次回からは提供いただきたい。 ・ この件については、遠藤委員がお詳しいところかと思うので、ご指導を仰いで対応すればよいと思う。 ・ 県の運営モニタリングの結果、大きな指摘はなかったようだが、文書管理のシステムをきちんと確立し、管理していく事を今後は運営に反映させていってほしい。 	<p>(県)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ はっきりとした苦情は受けていない。問い合わせとしては、地域で見かけた車両に関して処分場への搬入車両かとの問い合わせが数件あった。当処分場にて受け入れている車両か確認したうえで、回答している。 (県) ・ まだ基準が明確になっていないので、法規制等が始まった際には速やかに測定等の対応ができるように準備しておきたい。 (県) 今後検討していく。

<p>(2) 北沢不法投棄物の撤去について (資料2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月から撤去量が倍近くに増えている要因は何か。また、今後の見込みは如何。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標としている令和7年8月までの撤去完了に向けてよろしく願いたい。 ・ 処理量等の予想曲線(進捗管理チャート)を作成し、適切な処理が進んでいるか、何が問題かを把握し、しっかりと進行管理をしてほしい。 ・ 不法投棄地周辺の水質調査は行われているのか、また、撤去後も調査は続けるのか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 撤去後の北沢の跡地はどのように利用されるのか。地元のために活用されるのか。 	<p>(SPC)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前調査は実施していたが、実際に掘削してみると、破碎が必要なものや性状を確認しないと処理方法が決められないものが出てきたため、作業方法の改善などの努力を重ね、撤去を進めてきた。このようなノウハウの積み重ねが撤去量の増につながっていると思う。今後もこのような取り組みを続け処理を進めていきたい。 <p>(SPC) 承知した。</p> <p>(県)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不法投棄地周辺、直下、下流など複数地点で調査を実施しており、公開している。現状で周辺への影響はない。撤去後の調査については今後検討していきたい。 <p>(県)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北沢不法投棄地は民有地であるため、不法投棄物の撤去は投棄地とその周辺の地権者の了解を得て進めている。撤去後は、安全な形状に現状復帰のうえ所有者の管理に委ねたい。
---	---

(3) エコグリーンとちぎの情報発信について

(資料3)

- ・ 処分場が安全に稼働していることを理解してもらうため、ライブ映像をケーブルテレビで放送しているという趣旨は理解できるが、サブチャンネルで処分場の理解を深める情報をバランス良く発信できれば良いのではないか。
- ・ ライブ映像だけでは、視聴者に飽きられてしまって結果的に見る人がいなくなるということもあり得る。工夫をするということも検討してもいいのではないか。

(4) その他

- ・ 不法投棄物を適正に処分するということも大切だが、不法に投棄されないということこそが根本的な対策であり大切なことではないか。
- ・ 大変いい意見だと思う。
- ・ 今後は北沢不法投棄物処分の進捗状況を住民に知らせていくのか。

(県)

- ・ ライブ映像については適切に運営されているかを見ていただく目的のものであるため、(連続的な放送が必要と考えているが) いただいた御意見を踏まえ、検討していきたい。

(県)

- ・ 北沢不法投棄地については、周辺の環境調査の結果を公表している。進捗状況については公表していないので、今後検討したい。

第3回安全推進協議会における委員からの意見への回答【追加回答分】

令和6(2024)年6月25日に開催した第3回安全推進協議会において、後日回答を行うこととした項目について回答をとりまとめましたので公表します。

委員からの御質問・御意見等	県（事務局）からの回答等
エコグリーンとちぎの運営等について 受入廃棄物やその性質等の情報については良好であるということはよく理解できたが、内部の作業状況を表す埋立地自体の情報が少ないと感じた。容量や進捗率、クローズド型なので散水量と水処理量も提供してもらいたい。処分場の健全性という観点から、水収支は非常に重要なので、次回からは提供いただきたい。	資料1のP.4に、埋立の進捗率及び水収支について記載し、報告を行うこととしました。
北沢不法投棄物の撤去について 北沢不法投棄物の撤去について、処理量等の予想曲線（進捗管理チャート）を作成し、適切な処理が進んでいるか、何が問題かを把握し、しっかりと進行管理をしてほしい。	資料2のP.4の表において、現在の進捗率及び今後の計画数量について記載し、進捗状況がわかるようにしました。
北沢不法投棄物の撤去について 不法投棄地周辺の水質調査は行われているのか、また、撤去後も調査は続けるのか。	不法投棄物撤去後の水質調査の実施方法については、不法投棄物の撤去が完了し、不法投棄地を囲っている鉛直遮水工の撤去に着手する前にお知らせします。
エコグリーンとちぎの情報発信について ライブ映像だけでは、視聴者に飽きられてしまって結果的に見る人がいなくなるということもあり得る。工夫をするということも検討してもいいのではないかな。	ケーブルテレビによるライブ映像は常時処分場の状況を公表することを目的としているため、大幅な変更は行いませんでしたが、画面の隅等を活用し、情報を発信するなど、ライブ映像の一部を活用しております。 また、情報発信の一環として環境学習サイト「まなびのもり」を制作し、今年度から公開しております。